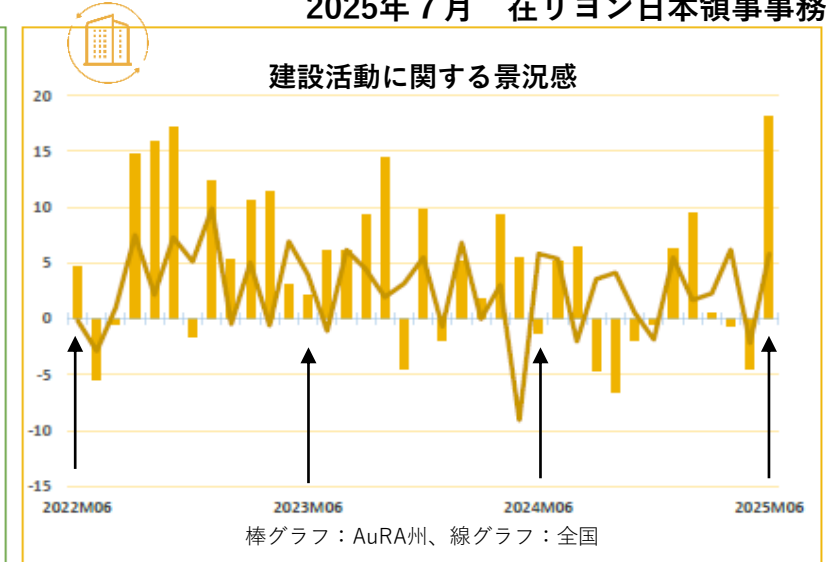
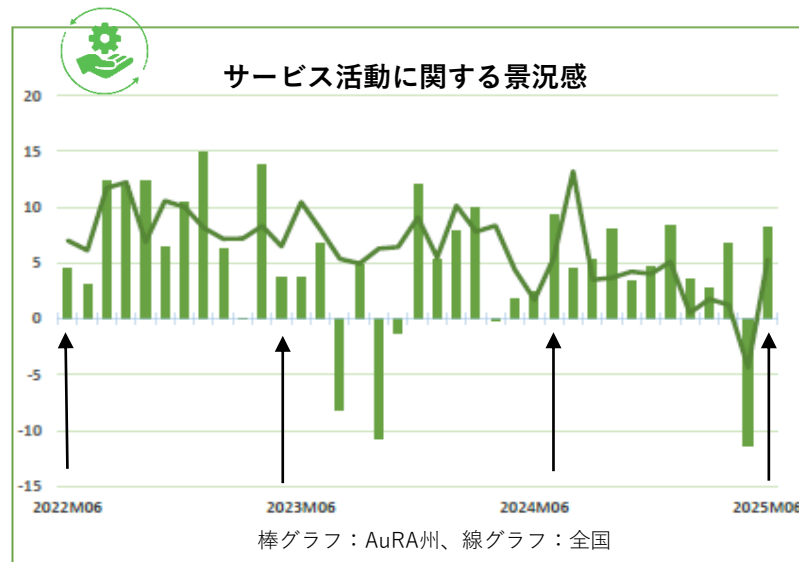
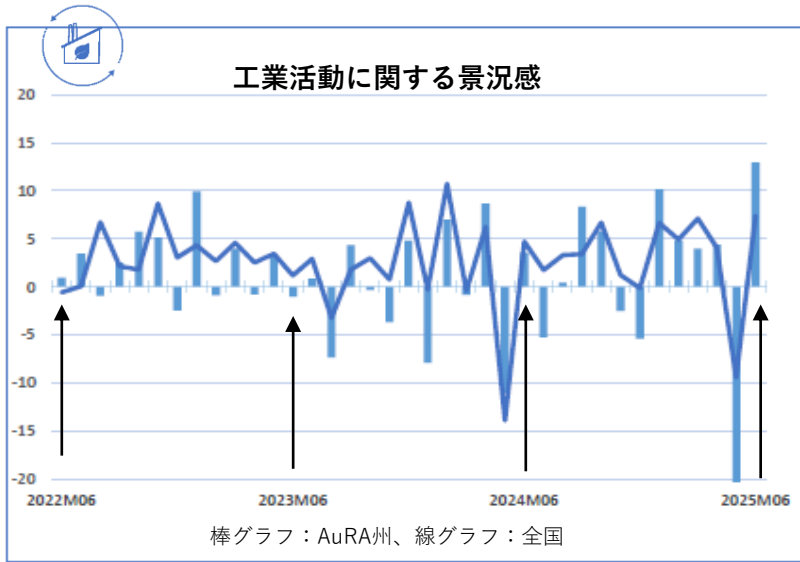


オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州における景況感調査（2025年6月）

2025年7月 在リヨン日本領事事務所



ポイント

- AuRA州の景況感は全国と同様、5月に3つの産業部門で不振がみられた後、6月に回復した。これは主に異例の連休の並びが影響したためである。
- **工業部門**の活動は回復をみせたが、4月の水準には戻っていない。これは全てのセクターに及んでおり、特に医薬品産業に顕著であるが、繊維・衣料・皮革、木材・紙・段ボールの2つのセクターでは依然として低迷している。受注残高はまだ不十分であるが、価格は安定しており、雇用も全体的に安定している。7月の景況感により緩やかなペースで増加する見込み。
- **サービス部門**の景況感は6月にプラスとなった。IT及び会計セクターは回復傾向にあり、人材派遣業も改善傾向にある。飲食業は観光客の減少により低迷が続いている。価格と雇用は全般的にほとんど変化はなかった。短期的に景況感は緩やかに回復する見込み。
- **建設部門**では、基礎工事は低迷が続いたものの、内装工事の活況に支えられ、6月の景況感は大きく回復した。見積価格は引き続き厳しい状況にある。夏場の交代要員を見込んで雇用は増強された。受注残高は引き続き満足できる水準であり、内装工事は更に堅調に推移している。短期的にも景況感は堅調に推移すると見込まれる。

* 各部門におけるセクター毎の調査結果は下記の出所（仏語）をご覧ください。

- フランス銀行が、AuRA州の工業、サービス業、建設・公共事業の各セクター1,150の企業と事業所を対象に、景況感について調査を実施（2025年6月26日～7月3日）。
- 景況感（le solde d'opinion）とは、企業経営者による肯定的意見と否定的意見の合計を、企業の従業員数で加重平均し、各部門の付加価値で調整したもので、企業経営者による7段階評価の回答を集計した指数であり、その値は-200から+200の範囲となる。季節調整済み及び稼働日調整済みデータを使用。

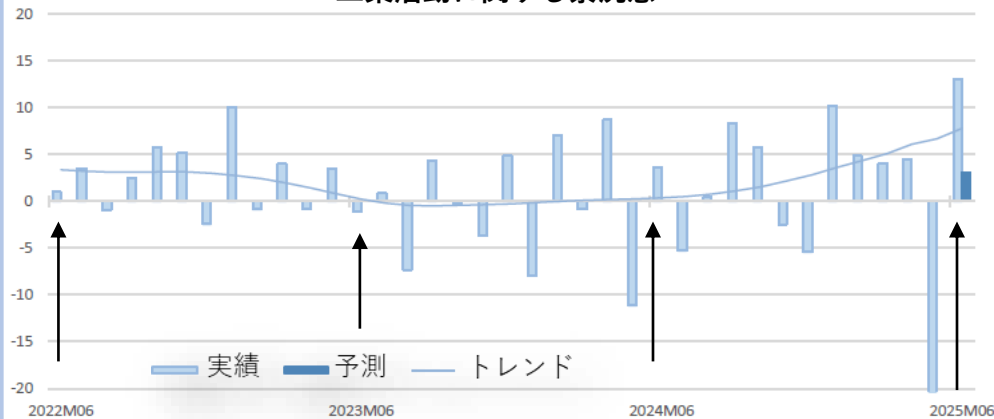
（出所：Banque de France, [Tendances régionales : Auvergne-Rhône-Alpes](#)）

オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州における景況感調査（2025年6月）

：実績、翌月の予測、トレンド



工業活動に関する景況感

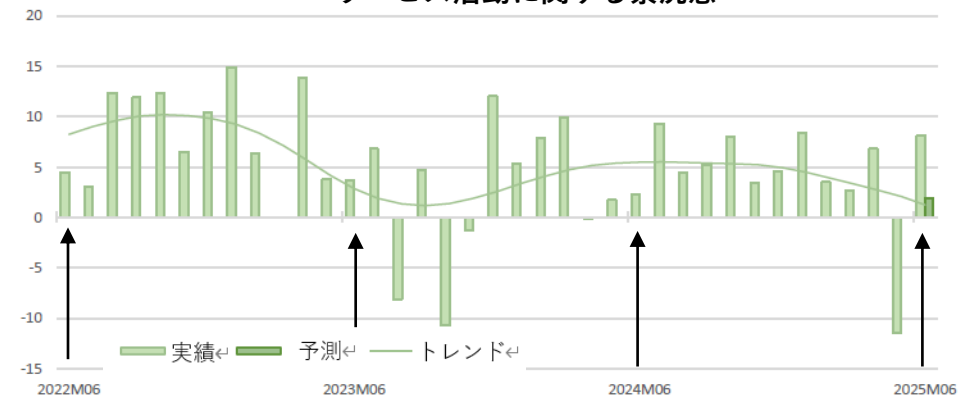


5月の大幅な落ち込みの後、6月の工業活動の景況感は回復した。回復の勢いは、依然として低迷している繊維・衣料・皮革及び木材・紙・段ボールセクターを除く全てに及んでいる。出荷も加速した。しかし、受注量は受注残高を回復させるにはいたらず、依然として低い水準にとどまっている。原材料価格及び販売価格は概ね安定しており、雇用水準も同様だった。製造業者は、短期的に生産活動がわずかに上向くと予想している。



全体として5月の落ち込みの後、6月のサービス部門の景況感は回復した。ITサービス、法律・会計サービスが活発化し、貨物道路輸送も回復。人材派遣業は好調を維持した。エンジニアリング業は安定化した一方、飲食業は減退。価格はわずかに上昇し、雇用は横ばいだった。企業経営者は依然として慎重姿勢を維持しており、今後数週間のサービス活動は緩やかに増加すると予想。

サービス活動に関する景況感



6月の建設部門の景況感は、特に改修工事の活況を受けて大きく回復した。受注残高はこの2カ月間で徐々に増加している。夏季休暇による欠員を補うため、派遣労働者の利用が拡大。一方、競争圧力のため、特に内装工事の見積価格が下がり続けている。建設業界関係者は、今後数週間で、全てのセクターの活動が拡大すると予想している。公共事業の活動は減少した。請負価格の値上げは競争圧力のため抑制されており、支払期限が延長されている。受注残高が極めて少ないにもかかわらず、関係者は次の四半期には活動の回復を予想している。



建設活動に関する景況感

